

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 産業連関表の作成・分析	講義科目	産業連関表を用いた分析 事例	講義時間	5コマ
講師	宮川 幸三 総務省統計研究研修所客員教授・立正大学経済学部教授				

※1コマ70分

講義のねらい

産業連関表を用いた分析としては、いわゆる経済波及効果を推定した事例が多い。しかし産業連関表に含まれる情報は、それ自体が経済構造の詳細を記述したものであり、単なる経済効果の予測だけでなく、産業構造の比較分析など様々な目的に応用することも可能である。

本講義では、産業連関表を用いた分析手法の1つとして「スカイライン分析」を取り上げ、その目的や手法の詳細、結果の解釈等について解説を行う。また、受講者が実際のデータを用いて分析を行うことができるよう、パソコン演習を実施する。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 産業連関表に関する復習	<ul style="list-style-type: none"> 産業連関表の中でも特殊な扱いをする部門等について、復習を兼ねて解説を行う。また地域産業連関表特有の問題についても解説する。
2. スカイライン分析に関する講義	<ul style="list-style-type: none"> スカイライン分析の手法に関する講義と、Excel を用いてスカイライン分析を行う方法について説明する。
3. スカイライン分析実習	<ul style="list-style-type: none"> 受講生各自が選んだ表（出身地の地域表など）を用いて、実際にスカイライン分析を行う。結果について分析する。
4. その他の応用分析に関する講義	<ul style="list-style-type: none"> 時間のある限り、産業連関表を応用した他の分析事例（国際表を利用した分析、地域表を利用した分析、観光に関する分析など）について講義を行う。

講義形態 指導方法	資料を配布し、それに基づいて講義を行う。
受講に必要な 基礎知識等	産業連関表の読み方や単純な波及効果分析（均衡産出高モデル）に関する基礎知識